



京都舞鶴港の選定内容と取組

-10-

今回選定された機能

1 国際フェリー・国際RORO船

2 国際海上コンテナ

3 外航クルーズ

(小樽港と伏木富山港と連名応募)

国際フェリーの拠点として

中国航路 週4便
韓国航路 週1便



航空機より安く、コンテナより早い！ スピードボート投入による航路開設

国際フェリー航路誘致の取組

平成22年6月2日

中国上海市と関西広域連合(担当委員:京都府知事)との間で観光交流協力の樹立に関する合意書締結

平成23年7月26日

韓国浦項市と京都府及び舞鶴市との間で経済交流等の推進に関する協定書締結

平成23年11月2日

第1回京都府複合一貫輸送対策研究会(学識経験者、国・府・舞鶴市、船社、荷役業者等で構成)開催

平成24年度(予定)

- ・中国太倉港及び韓国浦項港とのトライアル輸送実施
- ・国際フェリー就航のためのターミナル整備に係る基本設計

舞鶴—韓中高速フェリー

舞鶴市は、中国上海市と観光交流協力の樹立に関する合意書を締結し、韓国浦項市と経済交流等の推進に関する協定書を締結した。これにより、舞鶴市は、中国上海市と韓国浦項市との間で、高速フェリー航路の開設を目指す。舞鶴市は、中国上海市と韓国浦項市との間で、高速フェリー航路の開設を目指す。舞鶴市は、中国上海市と韓国浦項市との間で、高速フェリー航路の開設を目指す。

京都府と企業、来年度に試験運航

京都府が計画するフェリー航路と所要時間。舞鶴港から上海港へは約12時間、舞鶴港から釜山港へは約10時間と推定されている。

観光・輸出入に新ルート

舞鶴市は、中国上海市と韓国浦項市との間で、高速フェリー航路の開設を目指す。舞鶴市は、中国上海市と韓国浦項市との間で、高速フェリー航路の開設を目指す。舞鶴市は、中国上海市と韓国浦項市との間で、高速フェリー航路の開設を目指す。

平成23年10月5日付
日本経済新聞

舞鶴市は、中国上海市と韓国浦項市との間で、高速フェリー航路の開設を目指す。舞鶴市は、中国上海市と韓国浦項市との間で、高速フェリー航路の開設を目指す。舞鶴市は、中国上海市と韓国浦項市との間で、高速フェリー航路の開設を目指す。

外航クルーズ寄港誘致の取組

平成23年8月8日

小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港の連携による「環日本海クルーズ推進協議会」設立準備会開催

平成23年11月22日

京都舞鶴港クルーズ誘致協議会設立

平成23年12月21日

小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港の連携による「環日本海クルーズ推進協議会」第2回設立準備会開催

平成24年2月10日

小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港の連携による「環日本海クルーズ推進協議会」第3回設立準備会開催(予定)

平成24年度(予定)

- ・環日本海クルーズ協議会(H24.4.11設立)による共同プロモーションの実施
- ・地元誘致協議会による受入体制の強化
- ・大型クルーズ船対応施設の整備検討

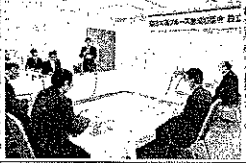
舞鶴港へクルーズ客船を誘致協が設立総会



地域活性化へ意気込み
舞鶴港へクルーズ客船を誘致する目的で、舞鶴市、舞鶴区、舞鶴港の連携による「舞鶴港クルーズ誘致協議会」の設立総会が、舞鶴市立舞鶴港市民センターで開かれた。協議会会長に舞鶴市長が就任し、舞鶴区長、舞鶴港長も役員に就任した。協議会では、舞鶴港の魅力をアピールし、クルーズ客船の誘致を図るとともに、地域活性化を図っていくことが目的とされている。

平成23年11月23日付
毎日新聞

環日本海クルーズ誘致強化 舞鶴など3港自治体が推進協



舞鶴港、伏木富山港、小樽港の連携による「環日本海クルーズ推進協議会」の設立準備会が、舞鶴市立舞鶴港市民センターで開かれた。協議会会長に舞鶴市長が就任し、舞鶴区長、舞鶴港長も役員に就任した。協議会では、舞鶴港の魅力をアピールし、クルーズ客船の誘致を図るとともに、地域活性化を図っていくことが目的とされている。

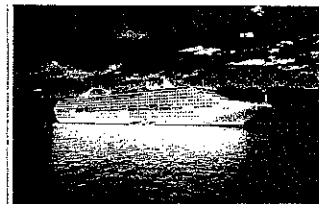
平成24年4月12日付京都新聞

新規クルーズ船誘致

平成25年度 新規クルーズ船寄港予定
サンプリンセス号 77千トン
船社:プリンセスクルーズ

寄港日 平成25年5月15日 第1回目
7月 8日 第2回目

大阪天保山岸壁着岸のサンプリンセス号



北近畿の経済規模拡大に期待
舞鶴港に初の外国客船
舞鶴港に初の外国客船「サンプリンセス」が寄港する。北近畿の経済規模拡大に期待されている。

舞鶴港に初の外国客船
来月5月7万トン級「サンプリンセス」寄港
今年には飛鳥IIなど入港
6年連続寄港へ

